

① **研究課題名**：腹圧性尿失禁に対する女性理学療法士による個別骨盤底筋トレーニングの有効性

② **研究の目的**：

腹圧性尿失禁に対し、骨盤底筋トレーニングは低侵襲で有効な治療法です。通常、3ヶ月程度の継続と、改善後も長期の継続が必要となりますが、骨盤底筋トレーニングを長期に継続できる方は少数です。継続できない理由は、指導が不十分なため正しいトレーニング方法を理解できておらず、治療効果を十分に得られていないことやフォローアップが不十分であることが考えられます。腹圧性尿失禁は女性に多く、東部医療センターでは2017年10月より女性理学療法士による個別骨盤底筋トレーニングを導入し、継続できる環境を整えました。

本研究は、個別骨盤底筋トレーニング指導を受けた方がトレーニングを正しく継続できたか、腹圧性尿失禁が改善したかを調査し、女性理学療法士による個別骨盤底筋トレーニング指導の有効性を明らかにすることを目的としています。

③ **研究期間**：西暦 2021年2月 ～ 2022年3月31日

④ **研究代表者及び研究実施施設**

研究代表者：青木マリア

研究実施施設：名古屋市立東部医療センター

⑤ **研究の対象**：

東部医療センター泌尿器科外来において、2017年10月1日から2020年3月31日までに腹圧性尿失禁に対し女性理学療法士による個別骨盤底筋トレーニングを受けられた方。

⑥ **調査項目**：

- ・ 基本情報：性別、年齢、身長、体重、BMI、手術歴、経膈分娩回数
- ・ 治療情報：受講日、指導前と指導後約3ヶ月の ICIQ-SF、1日あたりの尿パッド使用枚数、OABSS、IPSS (QOL含む)
- ・ 予後情報：改善の有無（本人からの申告）、指導後約3ヶ月時点での骨盤底筋トレーニングの継続状況

⑦ **研究の方法**：

研究担当医師が、対象となる方の診療録より「⑥調査項目」の情報を調査し、「症例調査票」に記入し、集計・解析します。

⑧ **研究成果の公開**

第109回日本泌尿器科学会総会で公表することを予定しています。

⑨ **個人情報の保護**

あなたのカルテ番号とは異なる新たな番号を付番し、その番号を用いて登録されます。このため、個人情報が外部に漏れることはありません。

この研究に参加されたくない（あなたのデータを使ってほしくない）場合は、医療者にその旨をお伝えください。この研究に用いるデータからあなたの情報を削除いたします。削除のお申し出をされた場合であっても、あなたが不利益を受けることはありません。

⑩ **利益相反**

本研究において、利益相反はありません。

⑪ 問い合わせ先

研究事務局	所属	研究責任者
名古屋市立東部医療センター 住所：〒464-8547 名古屋市千種区若水1丁目2番23 号	泌尿器科	青木 マリア TEL : 052-721-7171 (代表)